



ワークショップ「木造りの技術」

教員特別研究（重点目標研究）成果報告書 | 配分研究費：850千円（平成30年度）

## デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の位置づけに関する研究

### 目的・概要

＜目的＞ 本学デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の位置づけについて研究し、匠と協働の現代・未来のデザイン（建築・デザイン）を創造する教育プログラムを考案する。

＜概要＞ 「匠（技能者）の技を深める研究」と「デザイナーの技術を上げる研究」さらに両者を「つなぐ研究」を重視して実践的に行う。具体的には匠の技の実演を通して、本学デザイン教育の在り方や匠の技の記録・分析を行う。

### 期間

平成30年5月1日～平成31年3月31日

### 研究担当者

文化・芸術研究センター	講師	新妻淳子（研究代表者）
デザイン学部 デザイン学科	教授	伊豆裕一
デザイン学部 デザイン学科	教授	山本一樹
デザイン学部 デザイン学科	准教授	岩崎敏之
デザイン学部 デザイン学科	講師	天内大樹

## スケジュール

随時	匠領域開始に向けた教育内容・設備の検討と準備
平成30年8月6日	学内ワークショップ「大工技術はじめの一步」開催
平成30年10月20日	匠公開講座「匠とデザイン」第1回木の匠開催
平成30年12月8日	匠公開講座「匠とデザイン」第2回染織の匠開催
平成31年2月2日	東京藝術大学卒業・修了作品展見学

## 研究成果

1. 匠領域授業準備
  - 1-1 工房整備と工具・用具の選定
    - ・大工実習場（構造実験室内）の整備・大工技術演習用道具の選定
    - ・金属工芸用工具の選定
  - 1-2 ワークショップの開催
    - ・「大工技術はじめの一步」講師：飯田英夫・月原光泰
    - ・・・・大工技術（入門）実技指導と大工作業台の制作
  - 1-3 匠公開講座「匠とデザイン」の開催
    - ・第1回「木の匠」
      - 公開講義「伝統建築の美と技、そして未来へ」
      - 講師：藤井恵介（東京藝術大学客員教授・東京大学名誉教授）
      - 特別展示「木の匠展」
      - ・・・展示計画・実習（学芸員養成課程「博物館資料論」と連携）
      - ワークショップ「木造りの技術」講師：飯田英夫・月原光泰
      - ・・・映像記録作成、大工・研究者・デザイナーの協働に関する研究
    - ・第2回「染織の匠」
      - 公開講義「「染色とは？」から古代伝統染色・茜色まで」
      - 講師：加藤良次（横浜美術大学教授）
      - ワークショップ「染織の技術—浜松注染そめー」講師：二橋染工場
      - ・・・映像記録作成
2. 伝統工芸教育調査
  - ・東京藝術大学卒業・修了作品展における学生作品の調査
3. 伝統建築・伝統工芸に関する研究推進
 

『静岡文化芸術大学研究紀要 vol.19』2018

伊豆裕一「大学教育における伝統工芸とデザイン」

新妻淳子「明治維新前後の駿府における工匠に関する研究」



ワークショップ「染織の技術」

今後の研究成果の  
還元方法

1. 匠領域における教育の開始（2019年度）
  - ・日本伝統建築（実物を通して日本伝統建築を理解する）
  - ・基礎演習F（日本の意匠から図案を創出し、伝統技法で表現する）
  - ・テキスタイル概論
  - ・木のデザイン
2. 工房の整備
  - ・染色工房の整備・木彫工房の整備
3. 公開講座の開催
  - 前期公開講座「匠とデザイン」（全2回）（2019年7月開催）
4. ワークショップの開催（全2回、2019年度後期開催予定）
5. デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の技術継承と協働に関する研究推進